

2021年度

# 愛知の自治的諸活動と生活指導

(第57集)

も く じ

I はじめに・・ 2

II 本年度の研究活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

III 研究の内容（実践研究事例）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

小学校1年生 小1プロブレムを克服し、  
安心して学校生活を送ることができる子どもの育成

中学校2年生 仲間との主体的なかかわりを通して、自己有用感を高める生徒の育成

IV おわりに・・ 11

1 明らかになったこと

2 来年度への課題

## 愛知教職員組合連合会 教育課程研究委員 自治的諸活動と生活指導部会

### 2021年度 教育課程研究委員

ブロック推薦

◎部長 ○副部長

名古屋			尾張			三河		
氏名	単組名	学校名	氏名	単組名	学校名	氏名	単組名	学校名
○西尾 盛二	名古屋	東陵中	○志知 佑太	一宮	末広小	◎末次 志麻	みよし	黒笹小
――	――	――	小檜山 亮	海部	暁中	太田 早織	幸田	北部中

第67～69次教育研究全国集会レポート提出者

67次			68次			69次		
氏名	単組名	学校名	氏名	単組名	学校名	氏名	単組名	学校名
――	――	――	神谷 絢香	岡崎	六ツ美南部小	羽根田 知樹	名古屋	平針南小
齋藤 健司	豊田	藤岡南中	鈴木 潤也	豊田	若園中	浅野 和也	西春	清洲中

第71次教育研究全国集会レポート提出者 松下 裕哉（名古屋・千鳥小）  
蟹江 陽平（岡崎・男川小）

## I はじめに

本部会では、子どもたちが周りの仲間との間に良好な人間関係を築き、互いに意見を出し合ったり、教え合ったりする中で、どんなことにも意欲的に取り組むことができる力を身につけることをめざして実践に取り組んできた。こうした実践は、子どもたちが学力的な「基礎・基本」を身につけるための土台になっているのではないかと考える。また、本部会では、これまでに「複雑・多様化している現代社会の中で、たくましく生きていく力を育てる」という生活指導の方向性を確立してきた。そして、次のような目標を掲げ、教育研究活動に取り組んできた。

- 複雑・多様化している現代社会の中で、主体的に生きていく力を育てること。
- 集団の中で、民主的行動力を養い、社会性を育て、自治能力を育てること。
- 連帯感を深めながら、一人ひとりの人間としての尊厳を学びとらせること。

しかし、子どもたちを取り巻く状況は、複雑・多様化し、厳しさを増している。その中で、子どもたちの心は大きく揺れ動いている。積極的に周りの子とかかわることができない子、友だちへの気遣いや優しさをうまく表現できない子、素直に人の話が聞けない子のように、よりよい人間関係づくりを苦手に行っている子どもが増えているように感じる。それに加えて、暴力的手法で相手を傷つけたり、携帯電話やインターネットの普及により匿名で他人を誹謗中傷したりするなどのいじめや、不登校についても、昨今大きな課題として残されている。

わたくしたち教員は、学校集団生活での不適応が起因するさまざまな諸問題について、全力で解決していかなくてはならない。そのためには、優しい心、認め合う心、感動する心を子どもたちにもたせ、たくましく生きていく力を身につけさせることが大切である。そして、悩み苦しんでいる子どもたちの気持ちを真剣に受け止め、子どもたちが抱えている問題やその背景にあるものを正しく理解し、支えていかなければならない。

具体的には、わたくしたち教員は、まず、子どもたちと確かな信頼関係を築かなければならない。その上で、子どもたち一人ひとりのよさを認め、子どもたちが集団の中で「自分は役に立っている」、「必要とされている」という気持ちを味わうことができるようにすること、家庭や地域との連携を深めること、子どもたちの心に、周りの人に対する優しさや、思いやりの気持ちを育むことなどが大切であると考えます。

本年度は、着実な実践の積み重ねから生まれた成果とこれからの課題を話し合い、「たくましく生きる子どもを育てよう」をテーマに実践に取り組んだ。

## II 本年度の研究活動

- 2021. 4. 21 教育課程研究委員全体会〈名古屋市公会堂〉  
本年度の研究主題「たくましく生きる子どもを育てよう」の決定
- 2021. 8. 6 第1回部会〈県教育会館〉  
研究主題に沿って、小中学校それぞれの研究の3つの柱の確認
- 2021. 9. 10 第2回部会〈Web開催〉  
研究の3つの柱の確認と県教研分科会のすすめ方を検討
- 2021. 10. 13 第3回部会〈県教育会館〉  
県教研分科会の具体的なすすめ方や当日の発表・討論のあり方を検討
- 2021. 10. 16 第71次教育研究愛知県集会〈愛知県産業労働センター〉
- 2022. 2. 18 第4回部会〈県教育会館〉  
本年度の研究のまとめ

### Ⅲ 研究の内容

#### 第 71 次教育研究愛知県集会に向けて

「たくましく生きる子どもを育てよう」の統一テーマをもとに、多数のレポートが提出された。

#### 【小学校部会】レポート数 15 本

##### 課題

- (1) 子どもの気持ちを大切に、実態を把握した上で、よりよい人間関係を築くためにどのような活動を展開していくのか。
- (2) 心理的な背景や発達段階をふまえ、子どもたち一人ひとりをどのように理解し、支援していくのか。
- (3) どのようにして、集団の質を高めていくのか。

課題(1)にかかわるものとして、友だちのよいところを見つけ合う温かみのある学級づくりや話し合い活動の工夫によって、よりよい人間関係を構築し、お互いを認め合ったり、自己肯定感を高めたりするレポートが報告された。また、地域とのかかわりなど、学級・学校の垣根を越え、さまざまな人にふれ合うことで、自分を発見し成長していく姿が感じられるレポートが報告された。

課題(2)にかかわるものとして、グループワークや学校行事を子どもたちが主体的に活動することで自己指導能力を高める実践が報告された。

課題(3)にかかわるものとしては、主体的な異学年交流や児童会活動を行うことで、学級や学校生活をよりよくしていく実践が報告された。子どもたちが中心となって話し合い、活動の立案・実行までをしっかりと行うことができるよう、教員のサポートをどのようにしていくのかを明確にしたレポートも報告された。

また、問題を抱える子どもたちに対し、個々に応じて適切に支援し、自己有用感を高めることをめざしていくレポートも報告された。

提出されたレポートから、以下のことについての必要性が確認された。

- (1) 望ましい集団をつくるために、どのような活動を展開していくのか。
- (2) 活発な話し合いのための支援をどのようにしていくのか。
- (3) どのような目標設定のあり方がよいのか。また、活動の振り返りをどのように生活にいかしていくのか。

#### 【中学校部会】レポート数 13 本

##### 課題

- (1) 子どもの気持ちを大切に、実態を正しく把握した上で、やる気を引き出し自己存在感を味わわせるための支援のあり方。
- (2) リーダーの育成や集団の質を高めるための支援のあり方。
- (3) 問題行動の解決や予防のための家庭や地域との連携、コミュニケーション能力の育成とその支援のあり方。

子どもたちの自己存在感を味わわせるための支援のあり方では、互いのよさを認めたり、互いの意見を伝えたりする活動や自己理解に努め、次の課題に向けて取り組むことができるための振り返り活動の充実を図ったり、自己有用感や自己指導能力を養ったりする実践が報告された。

集団の質を高める支援のあり方では、よりよい人間関係を築くための活動、学級の一体感

を高めるための活動、学級活動や学校行事をいかしながら集団の質を高めていく実践が報告された。

問題行動の解決や予防のための家庭や地域との連携、コミュニケーション能力の育成とその支援のあり方では、市内の小中学校と連携して取り組む自己指導能力の育成や不登校生徒の自立をめざした支援、防災教育などの実践が報告された。

提出されたりレポートから、以下のことについて必要性が確認された。

- (1) 子どもの気持ちを大切にし、実態を正しく把握した上で、やる気を引き出し、自己存在感を味わわせるための支援のあり方。
- (2) 集団の質を高める支援のあり方。
- (3) 問題行動の解決や予防のための課程や地域との連携、子どもたち一人ひとりの理解と教員の支援のあり方。

## **小学校1年生 実践研究事例**

### **小1プロブレムを克服し、安心して学校生活を送ることができる子どもの育成 ～日認知能力に着目した実践を通して～**

#### **1 研究概要**

##### **(1) 主題設定の理由**

近年、「小1プロブレム」と呼ばれる問題がある。この問題の大きな原因として、幼稚園、保育園と小学校との環境の違いが挙げられる。「遊び」を中心とする幼稚園、保育園に対して、小学校では「集団学習」が中心となる。今までは、自分からこうしたいという「内発的動機付け」が優先されていた子どもたちが、教員からこうなさいという「外発的動機付け」が優先される環境となれば、適応できない子どもがいてもおかしくはない。非認知能力の視点から見ても、児童期（1年生～2年生）に育つ力として「自発性」と「受容性」が挙げられる。「自発性」は子どもの内発的動機付けから生まれる力であり、自己肯定感の高い幼児期から児童期にかけて高まりやすい。「受容性」とは、他者から与えられる外発的動機付けに対して受容する力であり、「受容性」の高まりとは、その外発的動機付けから内発的動機付けを生じさせる範囲の広がりを示す。この「受容性」が十分に高まっていない子どもが、小学校という新たな環境（＝さまざまな外発的動機付け）に対して、受容できない（＝「自発性」が表出されない）ことが小1プロブレムの大きな原因ではないかと考える。このことから、小学校1年生の担任教員が「自発性」と「受容性」を高める手だてを講じていくことは、小1プロブレムを克服するために必要であると考えた。

そこで本研究では、他者から与えられる外発的動機付けに対して、子どもの「自発性」を引き出し、高める手だてを継続的に行う。「自発性」を高めていくことで、生活や学習場面での「受容性」も高まり、学校生活に馴染むとともに、よりよい成長につながるのではないかと考える。また、外発的動機付けから学級集団として成功体験を得られる活動を取り入れる。成功体験を得られるとくみを反復して設けることで、それらの外発的動機付けに対する「受容性」を高めるとともに、学級集団として取り組むことで、仲間のよさを感じたり、喜びを分かち合ったりして、仲間とともに過ごすことへの安心感を得ることができると考える。

このように、非認知能力の視点から「自発性」と「受容性」を高める手だてを講じていくことで、小1プロブレムを克服し、子どもが安心して学校生活を送る姿を期待して、本研究の主題を設定した。

## (2) めざす子ども像

以上のことをふまえて、めざす子ども像を以下のように設定した。

集団生活に適切に対応し、仲間とともに安心して学校生活を送ることができる子ども

## (3) 研究の仮説と手だて

### 仮説 I

- ・学校生活において、他者から与えられる外発的動機付けに対して、子どもの「自発性」を引き出す場を継続して設定し、適切な教員支援を行うことで、生活や学習場面での「自発性」や「受容性」を高め、集団生活に適切に対応することができるだろう。

### 仮説 II

- ・特別活動において、外発的動機付けから学級集団として成功体験を得られる活動を反復して設けるとともに、仲間のよさに触れたり、喜びを分かち合ったりする経験をもたらすことで、外発的動機付けに対する「受容性」を高め、仲間とともに安心して学校生活を送ることができるようになるだろう。

### 仮説 I に対する手だて（「自発性」を引き出す継続的なとりくみ）

#### a、週1回のサークル対話（3～4人で円になって座り、自由に話すことができるようにする）

<教員支援>①ホワイトボードを活用して話題提示を行う。

②「話すこと」「聞くこと」のポイントを示した教室掲示を行う。

#### b、家庭学習選択制（宿題用のプリントから、何をどれだけやるか自己決定するとともに、成果の視覚化ができるようにする）

<教員支援>③家庭学習に取り組んだ分、シールを貼って自分のがんばりを視覚化させるための

カードを用意する。

#### c、マインドブック（自身の変容や成長を振り返るために、写真と言葉を残す）

<教員支援>④自分の気持ちを書く際には、「自分ががんばったり、嬉しかったりしたとき」に書く紙（黄色）、「みんなとがんばったり、みんなと嬉しかったりしたとき」に書く紙（青色）と2種類用意する。

### 仮説 II に対する手だて（学級集団で成功体験を得られるとりくみ）

#### d、笑顔いっぱいプロジェクト

<教員支援>⑤外発的動機付けから自発性を引き出すために、教材との出会わせ方を工夫する。

⑥一人ひとりが活躍できるように役割を与える。

⑦成功体験を価値付ける工夫を取り入れる。

## 3 実践の内容（仮説1の手だて a、b、cのみ）

以下、児童Aを抽出児として、手だての有効性を検証していく。また、児童の「自発性」や「受容性」の様子や高まった姿、実践のポイントを表す文には波線を入れていくことにする。

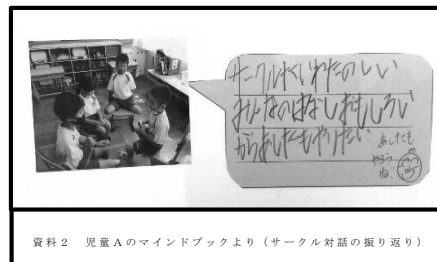
### a、週1回のサークル対話

毎週月曜日の1時間目に、3～4人で輪になって話をする「サークル対話」を行った。（資料1）当事者意識を涵養することで「自発性」を高めることを目的とした。始めた当初、児童Aは資料1から分かるように、席から離れ勝手な行動をしていた。その児童Aに対し「サークル対話しようよ！」と教員が声を掛けると「いやだ！」と拒絶した。話をすすめる



資料1 サークル対話の様子

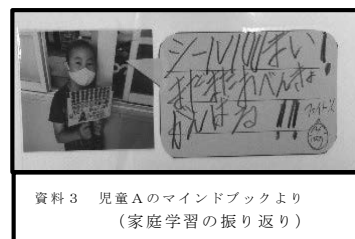
と児童Aが「話したいことを忘れてしまう」という困り感をもっていることがわかった。そこで児童Aを含め、話すことに不安をもつ児童には、事前に教員が話を聞き、キーワードだけをホワイトボードに書き込み、首から掛けさせた。＜教員支援①＞すると、児童Aが話せなくても友だちが「バーベキューって何？」などの質問をし、児童Aは質問に答えながら、自然と休みの日の楽しかったことについて話すことができた。3回ほど行くと、その次の週の月曜日の朝には、児童Aが自らホワイトボードを持ってきて、「書いて」と言うようになった。また、国語科「話す・聞く」の単元での学びをサークル対話でいかしていくことができるように、適宜、教室掲示を取り上げ、意識することができるように働きかけた。＜教員支援②＞これにより、一人ひとりが相手意識をもった話し方や話の聞き方に変わり、感想を述べたり、質問をしたりすることが自然と行われるようになった。3学期のサークル対話の様子を見てみると、児童Aが席を離れることはなく、仲間と楽しく対話することができている。（資料2）児童Aのマインドブック（2月24日）にある「みんなのはなしおもしろいから」からは児童Aの「受容性」が、「あしたもやりたい」からは「自発性」が高まっていることがうかがえる。（資料2）



資料2 児童Aのマインドブックより（サークル対話の振り返り）

## b、家庭学習選択制

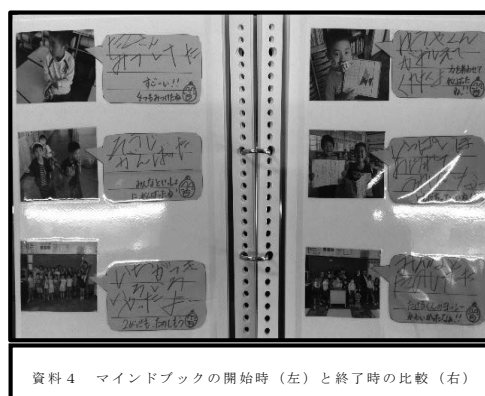
宿題用のプリントを事前に用意し、児童自らがやりたい学習を選ぶ家庭学習選択制を導入することにした。児童に自己決定させることで「自発性」を高め、家庭学習や普段の授業に対しての「受容性」を高めることを目的とした。1週間ごとにプリントを国語、算数それぞれ5枚ずつ用意し、問題の量や難易度からレベル別に分けた。児童Aは初めのうちは意欲的に取り組むも、1か月経つと持っていくプリントが1枚になり、持って帰らない日も増えてきた。そこで、プリント1枚につきシールを1枚貼れるカードを用意した。100枚シールを集めた児童には賞状を渡すことにした。＜教員支援③＞すると児童Aは今まで挑戦しなかった難易度の高いプリントにも取り組むようになり、さらに3学期には当たり前のように毎週ボスプリント（最難度）に挑戦するようになった。朝登校して1番に「先生！昨日ね、お父さんと一緒にボス倒した！」と嬉しそうにプリントを差し出す児童Aがみられた。児童Aのマインドブック（2月9日）には、「シール100まい！まだまだおべんきょうがんばる！」と記入しており、「自発性」と「受容性」の高まりがうかがえた。（資料3）



資料3 児童Aのマインドブックより（家庭学習の振り返り）

## c、マインドブック

学校生活において、嬉しかったことや楽しかったこと、がんばった姿などを教員が写真に収め、その写真とともにその時の児童の気持ちを児童自らが言葉にして残しておくことにした。これをマインドブックと呼び、1年間を通して作り上げた。メタ認知の場を定期的に設けることで、学校生活における自分を客観的に見つめ、さらなる「自発性」と「受容性」への高まりにつながることを期待した。児童Aを含め、どの児童も初めのうちは黄色の紙を選んで書く児童が多かったが、だんだんと、青色の紙を選ぶ児童が多くなっていった。資料4の児童Aのマインドブック

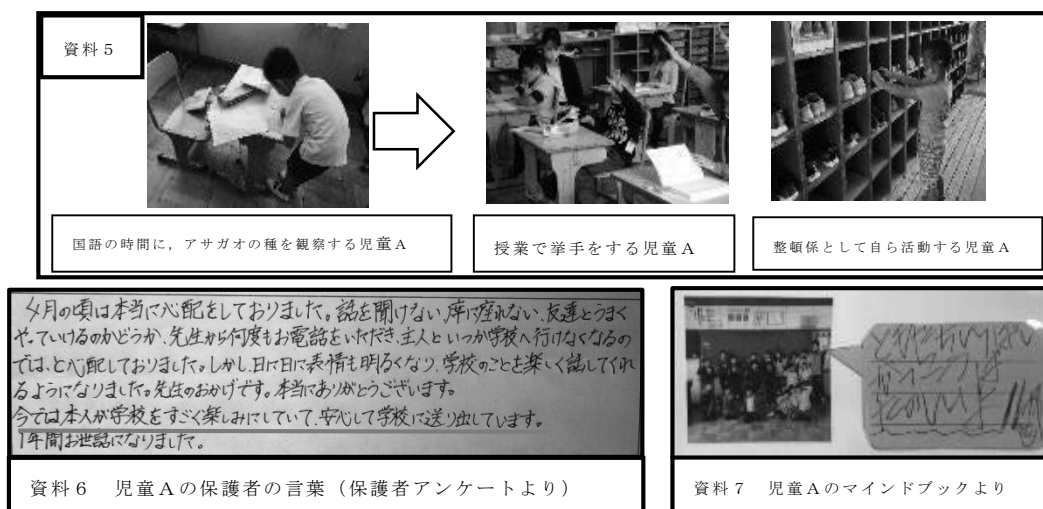


資料4 マインドブックの開始時（左）と終了時の比較（右）

クの開始時と終了時の比較からも分かるように、児童Aは1年を通して、仲間とのかかわりから、「自発性」「受容性」の高まりが、「自分が」から「みんなと」へという意識の変容をもたらし、集団生活に適切に対応しようとする姿につながっていることが分かる。

#### 4 成果

「自発性」を引き出す継続的なとりくみ、学級集団で成功体験を得られるとりくみを行ったことにより、集団生活における児童Aの「受容」する力を日々高めることができた。資料5のように生活面、学習面の変化からも児童Aが集団生活に適切に対応することができていることが分かる。また、保護者アンケートからは、「本人がとても学校を楽しみにしていて、安心して学校に送り出すことができました」（資料6）と記入しており、児童Aの最後のマインドブック（3月13日）には「ともだちいっぱい！がっこう楽しいよ」（資料7）と振り返っている。これらのことから、児童Aが仲間とともに安心して学校生活を送ることができたといえる。



#### 5 おわりに

小1プロブレムとは環境の変化に適応できないことが大きな要因と冒頭で述べたが、決して環境に適応できないことを子どものせいにはせず、教員が子どもの実態や能力を把握し、適応できるような環境づくりや教員支援をすれば、子どもは集団生活に適切に対応し、安心して学校生活を送ることができると感じた。「授業」や「教室」という型にはめ込み、「しつけ」という言葉で縛り付けることをしていたら、子どもたちの「非認知能力」は低下していき、これから育まれる「認知能力」さえも伸びず、自己肯定感が低い子どもになってしまうだろう。今回の実践は「非認知能力」の観点から「自発性」と「受容性」を高めることで小1プロブレムの克服を目的とした。この実践により、子どもたちがこの先、どのような「外発的動機付け」に対しても「受容」し、「自発性」を表出させて自分の力をどんどん高めていく姿を期待したい。

<参考文献> 「幼児期の非認知的な能力の発達をとらえる研究—感性・表現の視点から」  
（文部科学省・平成28年3月）

### 中学校2年生 実践研究事例

#### 仲間との主体的なかかわりを通して、自己有用感を高める生徒の育成 ～「全員で創りあげる合唱コンクール」の実践を通して～

##### 1 主題設定の理由

自己有用感とは、「誰かの役に立てた」「誰かに喜んでもらえた」など、他者の存在なしで

は芽生えてこない点に大きな特徴があると考える。そして、「人の役に立った」「人から感謝された」「人に認められた」という自己有用感を高めることは、自分自身の他者に対する前向きな行動につながり、これからの社会を生きていく力となると考える。本校は、地域とのかかわりを大切にしている学校であるが、地域に限らず、誰かと「かかわる」ということが何のために必要なのか、その価値を生徒自身があまり見いだすことができていないように感じた。そのために、学級全体で取り組むことができ、生徒が成長を実感しやすい行事として、「合唱コンクール」を選んだ。合唱コンクールは、仲間とともに一つの合唱を創り出すプロセスを通して、集団の中で自他の存在を認め合う機会を作り出しやすい行事である。仲間とともに、目標に向かって力を合わせて取り組むことの充実感や達成感が、今後の人生の大きな糧になることを気付いてほしい。これらのことから、仲間との主体的なかかわりを通して、自己有用感を高める生徒の育成をはかっていきたい。

## 2 仮説

- 〈仮説1〉 合唱練習において、学級目標や練習内容を全員で共通理解することができれば、自分の活動に見通しをもって主体的に取り組むことができる生徒が育つだろう。
- 〈仮説2〉 合唱練習の中で、仲間とかかわり、互いに認め合う場を多く設定することで、「誰かの役に立ててよかった」「自分にはこんな力があるんだ」という自己有用感を高めることができる生徒が育つだろう。

## 3 仮説に迫るための手だて

〈仮説1の手だて〉

- ア 全員が同じ目標に向かうために学級会を開き、生徒自身が主体的に活動する意識を高めさせる。
- イ 全員が見通しをもって練習に取り組むために、合唱練習にP D C Aサイクルを意図的に活用した「合唱練習レベルアップシート」作成する。

〈仮説2の手だて〉

- ア 学年を超えて認め合う機会を増やすために、異学年交流（縦割り合唱練習）を積極的に実施して、互いのよさや励ましの言葉を交流する場を設定する。
- イ 合唱交流の後には感想やアドバイスを書いたメッセージカードを交流したり、本番前には級友どうしで励ましのメッセージを送り合ったり、互いを認め合う機会を設定する。

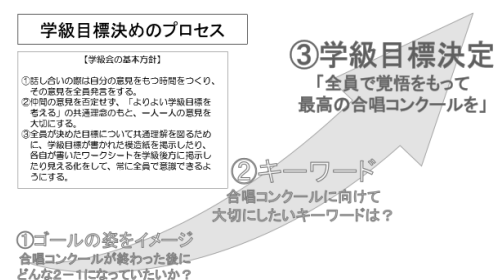
## 4 抽出生徒の設定と意識調査

本研究では、抽出生徒Aの変容と学級・学年・学校全体に対して行う意識調査の結果を中心にすえて実践を考察し、仮説や手だての有効性を検証したいと考える。

## 5 実践と考察

### 【共通理解①】全員で同じ目標に向かうための「学級会」（合唱コンクールの学級目標決め）

普段、なかなか発言したり自分の考えを伝えたりすることが苦手な生徒も、資料1の「学級会の基本方針」にもあるように、全員が発表するようにしたことで、他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉に責任をもつことを期待した。「仲間の意見を否定せず、「よりよい学級目標を考える」の共通理念のもと、一人ひとりの意見を大切にすること



資料1 学級目標を決める学級会の過程（プロセス）



通理解し、自分の考えと仲間の思いをもとに、自分たちで考えた目標を全員が意識して取り組むための土台となる学級会になることを願った。

今回の「合唱コンクールの学級目標決め」の学級会（資料1）では、生徒一人ひとりに「合唱コンクール後の2-1の姿」を考えさせ、ワークシートに記入し、全員に発表させた。行事を通して、どんなクラスになっていきたいかそのイメージを全員でもち、全員が発表することでみんなの思いを共有した。抽出生徒Aも資料2にあるように、「仲間としての意識が高まっている、今よりももっと強い絆になっていて誰もがクラスを想っている。」という思いを学級に発表した。

【共通理解②】P D C Aサイクルを活用した「合唱練習レベルアップシート」

子供達の活動をPDCAサイクル化する手立て

本番まであと  
合唱練習 Level Up Seat 15 日  
2年1組 (ツアラ) パート (9)月(20)日(木) 15時

【2年1組合唱コンクール目標・スローガン】  
全員で「覚悟」を決め、最高の合唱コンクールを

今日の練習の目標・ゴールの姿  
46～87小節目までの強弱は  
は・ホリするよう歌う。  
(弱くならない)

今日の practice plan

時間	(7:30～8:30)
1 限後	10 分間 親戚の歌を覚えている。 44小節目まで強弱は、7.11.15.19.23.27.31.35.39.43.47.51.55.59.63.67.71.75.79.83.87.91.95.99.103.107.111.115.119.123.127.131.135.139.143.147.151.155.159.163.167.171.175.179.183.187.191.195.199.203.207.211.215.219.223.227.231.235.239.243.247.251.255.259.263.267.271.275.279.283.287.291.295.299.303.307.311.315.319.323.327.331.335.339.343.347.351.355.359.363.367.371.375.379.383.387.391.395.399.403.407.411.415.419.423.427.431.435.439.443.447.451.455.459.463.467.471.475.479.483.487.491.495.499.503.507.511.515.519.523.527.531.535.539.543.547.551.555.559.563.567.571.575.579.583.587.591.595.599.603.607.611.615.619.623.627.631.635.639.643.647.651.655.659.663.667.671.675.679.683.687.691.695.699.703.707.711.715.719.723.727.731.735.739.743.747.751.755.759.763.767.771.775.779.783.787.791.795.799.803.807.811.815.819.823.827.831.835.839.843.847.851.855.859.863.867.871.875.879.883.887.891.895.899.903.907.911.915.919.923.927.931.935.939.943.947.951.955.959.963.967.971.975.979.983.987.991.995.999.1003.1007.1011.1015.1019.1023.1027.1031.1035.1039.1043.1047.1051.1055.1059.1063.1067.1071.1075.1079.1083.1087.1091.1095.1099.1103.1107.1111.1115.1119.1123.1127.1131.1135.1139.1143.1147.1151.1155.1159.1163.1167.1171.1175.1179.1183.1187.1191.1195.1199.1203.1207.1211.1215.1219.1223.1227.1231.1235.1239.1243.1247.1251.1255.1259.1263.1267.1271.1275.1279.1283.1287.1291.1295.1299.1303.1307.1311.1315.1319.1323.1327.1331.1335.1339.1343.1347.1351.1355.1359.1363.1367.1371.1375.1379.1383.1387.1391.1395.1399.1403.1407.1411.1415.1419.1423.1427.1431.1435.1439.1443.1447.1451.1455.1459.1463.1467.1471.1475.1479.1483.1487.1491.1495.1499.1503.1507.1511.1515.1519.1523.1527.1531.1535.1539.1543.1547.1551.1555.1559.1563.1567.1571.1575.1579.1583.1587.1591.1595.1599.1603.1607.1611.1615.1619.1623.1627.1631.1635.1639.1643.1647.1651.1655.1659.1663.1667.1671.1675.1679.1683.1687.1691.1695.1699.1703.1707.1711.1715.1719.1723.1727.1731.1735.1739.1743.1747.1751.1755.1759.1763.1767.1771.1775.1779.1783.1787.1791.1795.1799.1803.1807.1811.1815.1819.1823.1827.1831.1835.1839.1843.1847.1851.1855.1859.1863.1867.1871.1875.1879.1883.1887.1891.1895.1899.1903.1907.1911.1915.1919.1923.1927.1931.1935.1939.1943.1947.1951.1955.1959.1963.1967.1971.1975.1979.1983.1987.1991.1995.1999.2003.2007.2011.2015.2019.2023.2027.2031.2035.2039.2043.2047.2051.2055.2059.2063.2067.2071.2075.2079.2083.2087.2091.2095.2099.2103.2107.2111.2115.2119.2123.2127.2131.2135.2139.2143.2147.2151.2155.2159.2163.2167.2171.2175.2179.2183.2187.2191.2195.2199.2203.2207.2211.2215.2219.2223.2227.2231.2235.2239.2243.2247.2251.2255.2259.2263.2267.2271.2275.2279.2283.2287.2291.2295.2299.2303.2307.2311.2315.2319.2323.2327.2331.2335.2339.2343.2347.2351.2355.2359.2363.2367.2371.2375.2379.2383.2387.2391.2395.2399.2403.2407.2411.2415.2419.2423.2427.2431.2435.2439.2443.2447.2451.2455.2459.2463.2467.2471.2475.2479.2483.2487.2491.2495.2499.2503.2507.2511.2515.2519.2523.2527.2531.2535.2539.2543.2547.2551.2555.2559.2563.2567.2571.2575.2579.2583.2587.2591.2595.2599.2603.2607.2611.2615.2619.2623.2627.2631.2635.2639.2643.2647.2651.2655.2659.2663.2667.2671.2675.2679.2683.2687.2691.2695.2699.2703.2707.2711.2715.2719.2723.2727.2731.2735.2739.2743.2747.2751.2755.2759.2763.2767.2771.2775.2779.2783.2787.2791.2795.2799.2803.2807.2811.2815.2819.2823.2827.2831.2835.2839.2843.2847.2851.2855.2859.2863.2867.2871.2875.2879.2883.2887.2891.2895.2899.2903.2907.2911.2915.2919.2923.2927.2931.2935.2939.2943.2947.2951.2955.2959.2963.2967.2971.2975.2979.2983.2987.2991.2995.2999.3003.3007.3011.3015.3019.3023.3027.3031.3035.3039.3043.3047.3051.3055.3059.3063.3067.3071.3075.3079.3083.3087.3091.3095.3099.3103.3107.3111.3115.3119.3123.3127.3131.3135.3139.3143.3147.3151.3155.3159.3163.3167.3171.3175.3179.3183.3187.3191.3195.3199.3203.3207.3211.3215.3219.3223.3227.3231.3235.3239.3243.3247.3251.3255.3259.3263.3267.3271.3275.3279.3283.3287.3291.3295.3299.3303.3307.3311.3315.3319.3323.3327.3331.3335.3339.3343.3347.3351.3355.3359.3363.3367.3371.3375.3379.3383.3387.3391.3395.3399.3403.3407.3411.3415.3419.3423.3427.3431.3435.3439.3443.3447.3451.3455.3459.3463.3467.3471.3475.3479.3483.3487.3491.3495.3499.3503.3507.3511.3515.3519.3523.3527.3531.3535.3539.3543.3547.3551.3555.3559.3563.3567.3571.3575.3579.3583.3587.3591.3595.3599.3603.3607.3611.3615.3619.3623.3627.3631.3635.3639.3643.3647.3651.3655.3659.3663.3667.3671.3675.3679.3683.3687.3691.3695.3699.3703.3707.3711.3715.3719.3723.3727.3731.3735.3739.3743.3747.3751.3755.3759.3763.3767.3771.3775.3779.3783.3787.3791.3795.3799.3803.3807.3811.3815.3819.3823.3827.3831.3835.3839.3843.3847.3851.3855.3859.3863.3867.3871.3875.3879.3883.3887.3891.3895.3899.3903.3907.3911.3915.3919.3923.3927.3931.3935.3939.3943.3947.3951.3955.3959.3963.3967.3971.3975.3979.3983.3987.3991.3995.3999.4003.4007.4011.4015.4019.4023.4027.4031.4035.4039.4043.4047.4051.4055.4059.4063.4067.4071.4075.4079.4083.4087.4091.4095.4099.4103.4107.4111.4115.4119.4123.4127.4131.4135.4139.4143.4147.4151.4155.4159.4163.4167.4171.4175.4179.4183.4187.4191.4195.4199.4203.4207.4211.4215.4219.4223.4227.4231.4235.4239.4243.4247.4251.4255.4259.4263.4267.4271.4275.4279.4283.4287.4291.4295.4299.4303.4307.4311.4315.4319.4323.4327.4331.4335.4339.4343.4347.4351.4355.4359.4363.4367.4371.4375.4379.4383.4387.4391.4395.4399.4403.4407.4411.4415.4419.4423.4427.4431.4435.4439.4443.4447.4451.4455.4459.4463.4467.4471.4475.4479.4483.4487.4491.4495.4499.4503.4507.4511.4515.4519.4523.4527.4531.4535.4539.4543.4547.4551.4555.4559.4563.4567.4571.4575.4579.4583.4587.4591.4595.4599.4603.4607.4611.4615.4619.4623.4627.4631.4635.4639.4643.4647.4651.4655.4659.4663.4667.4671.4675.4679.4683.4687.4691.4695.4699.4703.4707.4711.4715.4719.4723.4727.4731.4735.4739.4743.4747.4751.4755.4759.4763.4767.4771.4775.4779.4783.4787.4791.4795.4799.4803.4807.4811.4815.4819.4823.4827.4831.4835.4839.4843.4847.4851.4855.4859.4863.4867.4871.4875.4879.4883.4887.4891.4895.4899.4903.4907.4911.4915.4919.4923.4927.4931.4935.4939.4943.4947.4951.4955.4959.4963.4967.4971.4975.4979.4983.4987.4991.4995.4999.5003.5007.5011.5015.5019.5023.5027.5031.5035.5039.5043.5047.5051.5055.5059.5063.5067.5071.5075.5079.5083.5087.5091.5095.5099.5103.5107.5111.5115.5119.5123.5127.5131.5135.5139.5143.5147.5151.5155.5159.5163.5167.5171.5175.5179.5183.5187.5191.5195.5199.5203.5207.5211.5215.5219.5223.5227.5231.5235.5239.5243.5247.5251.5255.5259.5263.5267.5271.5275.5279.5283.5287.5291.5295.5299.5303.5307.5311.5315.5319.5323.5327.5331.5335.5339.5343.5347.5351.5355.5359.5363.5367.5371.5375.5379.5383.5387.5391.5395.5399.5403.5407.5411.5415.5419.5423.5427.5431.5435.5439.5443.5447.5451.5455.5459.5463.5467.5471.5475.5479.5483.5487.5491.5495.5499.5503.5507.5511.5515.5519.5523.5527.5531.5535.5539.5543.5547.5551.5555.5559.5563.5567.5571.5575.5579.5583.5587.5591.5595.5599.5603.5607.5611.5615.5619.5623.5627.5631.5635.5639.5643.5647.5651.5655.5659.5663.5667.5671.5675.5679.5683.5687.5691.5695.5699.5703.5707.5711.5715.5719.5723.5727.5731.5735.5739.5743.5747.5751.5755.5759.5763.5767.5771.5775.5779.5783.5787.5791.5795.5799.5803.5807.5811.5815.5819.5823.5827.5831.5835.5839.5843.5847.5851.5855.5859.5863.5867.5871.5875.5879.5883.5887.5891.5895.5899.5903.5907.5911.5915.5919.5923.5927.5931.5935.5939.5943.5947.5951.5955.5959.5963.5967.5971.5975.5979.5983.5987.5991.5995.5999.6003.6007.6011.6015.6019.6023.6027.6031.6035.6039.6043.6047.6051.6055.6059.6063.6067.6071.6075.6079.6083.6087.6091.6095.6099.6103.6107.6111.6115.6119.6123.6127.6131.6135.6139.6143.6147.6151.6155.6159.6163.6167.6171.6175.6179.6183.6187.6191.6195.6199.6203.6207.6211.6215.6219.6223.6227.6231.6235.6239.6243.6247.6251.6255.6259.6263.6267.6271.6275.6279.6283.6287.6291.6295.6299.6303.6307.6311.6315.6319.6323.6327.6331.6335.6339.6343.6347.6351.6355.6359.6363.6367.6371.6375.6379.6383.6387.6391.6395.6399.6403.6407.6411.6415.6419.6423.6427.6431.6435.6439.6443.6447.6451.6455.6459.6463.6467.6471.6475.6479.6483.6487.6491.6495.6499.6503.6507.6511.6515.6519.6523.6527.6531.6535.6539.6543.6547.6551.6555.6559.6563.6567.6571.6575.6579.6583.6587.6591.6595.6599.6603.6607.6611.6615.6619.6623.6627.6631.6635.6639.6643.6647.6651.6655.6659.6663.6667.6671.6675.6679.6683.6687.6691.6695.6699.6703.6707.6711.6715.6719.6723.6727.6731.6735.6739.6743.6747.6751.6755.6759.6763.6767.6771.6775.6779.6783.6787.6791.6795.6799.6803.6807.6811.6815.6819.6823.6827.6831.6835.6839.6843.6847.6851.6855.6859.6863.6867.6871.6875.6879.6883.6887.6891.6895.6899.6903.6907.6911.6915.6919.6923.6927.6931.6935.6939.6943.6947.6951.6955.6959.6963.6967.6971.6975.6979.6983.6987.6991.6995.6999.7003.7007.7011.7015.7019.7023.7027.7031.7035.7039.7043.7047.7051.7055.7059.7063.7067.7071.7075.7079.7083.7087.7091.7095.7099.7103.7107.7111.7115.7119.7123.7127.7131.7135.7139.7143.7147.7151.7155.7159.7163.7167.7171.7175.7179.7183.7187.7191.7195.7199.7203.7207.7211.7215.7219.7223.7227.7231.7235.7239.7243.7247.7251.7255.7259.7263.7267.7271.7275.7279.7283.7287.7291.7295.7299.7303.7307.7311.7315.7319.7323.7327.7331.7335.7339.7343.7347.7351.7355.7359.7363.7367.7371.7375.7379.7383.7387.7391.7395.7399.7403.7407.7411.7415.7419.7423.7427.7431.7435.7439.7443.7447.7451.7455.7459.7463.7467.7471.7475.7479.7483.7487.7491.7495.7499.7503.7507.7511.7515.7519.7523.7527.7531.7535.7539.7543.7547.7551.7555.7559.7563.7567.7571.7575.7579.7583.7587.7591.7595.7599.7603.7607.7611.7615.7619.7623.7627.7631.7635.7639.7643.7647.7651.7655.7659.7663.7667.7671.7675.7679.7683.7687.7691.7695.7699.7703.7707.7711.7715.7719.7723.7727.7731.7735.7739.7743.7747.7751.7755.7759.7763.7767.7771.7775.7779.7783.7787.7791.7795.7799.7803.7807.7811.7815.7819.7823.7827.7831.7835.7839.7843.7847.7851.7855.7859.7863.7867.7871.7875.7879.7883.7887.7891.7895.7899.7903.7907.7911.7915.7919.7923.7927.7931.7935.7939.7943.7947.7951.7955.7959.7963.7967.7971.7975.7979.7983.7987.7991.7995.7999.8003.8007.8011.8015.8019.8023.8027.8031.8035.8039.8043.8047.8051.8055.8059.8063.8067.8071.8075.8079.8083.8087.8091.8095.8099.8103.8107.8111.8115.8119.8123.8127.8131.8135.8139.8143.8147.8151.8155.8159.8163.8167.8171.8175.8179.8183.8187.8191.8195.8199.8203.8207.8211.8215.8219.8223.8227.8231.8235.8239.8243.8247.8251.8255.8259.8263.8267.8271.8275.8279.8283.8287.8291.8295.8299.8303.8307.8311.8315.8319.8323.8327.8331.8335.8339.8343.8347.8351.8355.8359.8363.8367.8371.8375.8379.8383.8387.8391.8395.8399.8403.8407.8411.8415.8419.8423.8427.8431.8435.8439.8443.8447.8451.8455.8459.8463.8467.8471.8475.8479.8483.8487.8491.8495.8499.8503.8507.8511.8515.8519.8523.8527.8531.8535.8539.8543.8547.8551.8555.8559.8563.8567.8571.8575.8579.8583.8587.8591.8595.8599.8603.8607.8611.8615.8619.8623.8627.8631.8635.8639.8643.8647.8651.8655.8659.8663.8667.8671.8675.8679.8683.8687.8691.8695.8699.8703.8707.8711.8715.8719.8723.8727.8731.8735.8739.8743.8747.8751.8755.8759.8763.8767.8771.8775.8779.8783.8787.8791.8795.8799.8803.8807.8811.8815.8819.8823.8827.8831.8835.8839.8843.8847.8851.8855.8859.8863.8867.8871.8875.8879.8883.8887.8891.8895.8899.8903.8907.8911.8915.8919.8923.8927.8931.8935.8939.8943.8947.8951.8955.8959.8963.8967.8971.8975.8979.8983.8987.8991.8995.8999.9003.9007.9011.9015.9019.9023.9027.9031.9035.9039.9043.9047.9051.9055.9059.9063.9067.9071.9075.9079.9083.9087.9091.9095.9099.9103.9107.9111.9115.9119.9123.9127.9131.9135.9139.9143.9147.9151.9155.9159.9163.9167.9171.9175.9179.9183.9187.9191.9195.9199.9203.9207.9211.9215.9219.9223.9227.9231.9235.9239.9243.9247.9251.9255.9259.9263.9267.9271.9275.9279.9283.9287.9291.9295.9299.9303.9307.9311.9315.9319.9323.9327.9331.9335.9339.9343.9347.9351.9355.9359.9363.9367.9371.9375.9379.9383.9387.9391.9395.9399.9403.9407.9411.9415.9419.9423.9427.9431.9435.9439.9443.9447.9451.9455.9459.9463.9467.9471.9475.9479.9483.9487.9491.9495.9499.9503.9507.9511.9515.9519.9523.9527.9531.9535.9539.9543.9547.9551.9555.9559.9563.9567.9571.9575.9579.9583.9587.9591.9595.9599.9603.9607.9611.9615.9619.96

とバトン（伝統・絆）を繋ぐ」というものがあると考えた。

そこで、体育大会の応援合戦の練習から縦割りでの学年を超えた交流を始め、合唱コンクールでも縦割り合唱交流を行事の担当者と協議し、教務主任と相談して教育課程内に縦割り合唱交流を位置づけ、2回実施した。2回設定した理由としては、一度ではただの発表会で終わってしまうという懸念があり、合唱期間のはじめと終わりの時期に設定することで、「合唱練習を通して成長した姿を見ることができるのではないか」というねらいがあった。中心となる3年生は、事前に計画書を作成し後輩に配付して、共通のねらいのもとで合唱交流の時間を充実させようと努力していた（資料3）。この計画書を見た本学級の生徒は目を輝かせ、緊張しながらもこの縦割り練習に向けて一層練習に力を注いでいた。後輩（2年生、1年生）からすると、見通しをもって交流できるだけでなく、来年は自分たちがこのような交流を運営していくのだというイメージをもつことができた。


**合唱縦割り練習 1-2, 2-1, 3-2**

1. ねらい

- 他学年の合唱を聞くことで、自分の現状を理解し、高めを目指す
- 緊張していることで緊張感をとり、本番まで慣れた練習とする

2. 場所 多目的室

各クラス多目的室に入ってから、静かに物動していくべき。お昼まで、長い時間にしていきましょ。ご協力よろしくお願ひします。



3. スケジュール

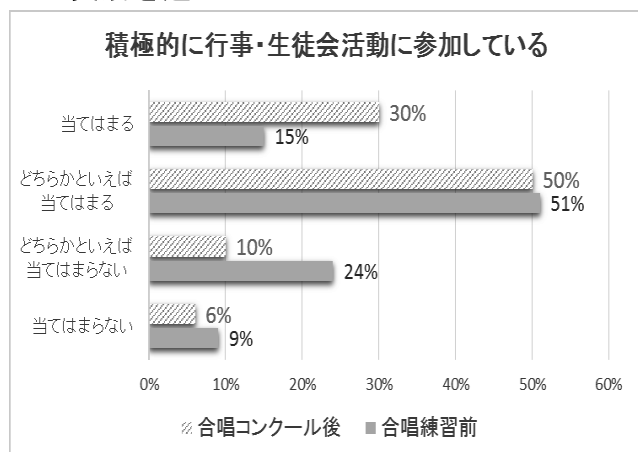
7/26 6限 14:10~14:55  
 14:10~前までは、練習内容説明  
 14:12 各クラス練習（1年、多目的室の2年、3年、177組）  
 ~14:27  
 14:30 各クラス自由曲の発表  
 ~14:50 2年「空想の国」 1年「おどろきの国」  
 1年「この星に希望を」 2年「光の国」  
 3年「光の国」 1年「光の国」  
 14:55 おひき

資料3 3年生が下級生に配付した  
縦割り合唱交流の流れ

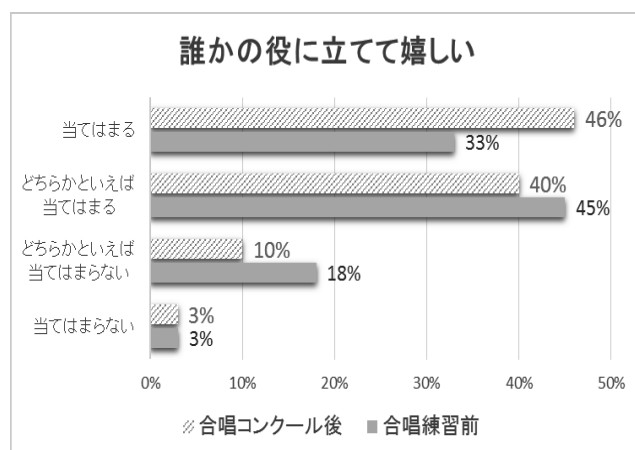
### 【認め合い②】生徒どうしの相互評価

認め合う活動の二つ目として、生徒どうしの相互評価を行った。教員が子どもたちの活動を評価することも大切だが、生徒どうしが互いの努力を評価し合う機会を意図的に設定することが、生徒の自己有用感を高めると考えた。具体的な手だての一つ目として、縦割り合唱交流の後にメッセージカードを送り合うことを挙げる。このメッセージカードには、先輩からは後輩への励ましの言葉やアドバイス、後輩から先輩へはよかった点や学んだことやこれからの自分たちの合唱にいかしていきたいことが書かれていた。互いのメッセージを真剣に読み、「すげーこんな褒められているよ！」と話す生徒の姿は、他者から認められた自己有用感に満ちていた。

## 6 実践を通して



グラフ1 「積極的に行事・生徒会活動に参加している」  
(合唱練習前と合唱コンクール後の比較)



グラフ2 「誰かの役に立てて嬉しい」  
(合唱練習前と合唱コンクール後の比較)

グラフ1「積極的に行事・生徒会活動に参加している」、グラフ2「誰かの役に立てて嬉しい」の合唱練習前と合唱コンクール後の比較を見ると、今回の手だてによって、行事の活動への主体性が高まり、誰かの役に立ててよかったという自己有用感を高めることができた生

徒が、合唱練習前に比べて増えたことがわかる。自己有用感を高めることは、自分自身の他者に対する前向きな行動につながり、これからの社会を生きる力になると考えて研究を行い、その姿が本研究でも十分に見ることができた。これからも、主体的に人とのかかわり、その中で自分の存在意義を見つけ、自己有用感を高める生徒を育てていきたい。

### Ⅲ おわりに

#### 1 明らかになったこと

現在の子どもたちは、自分の力を十分に発揮する機会が失われたり、将来の夢や希望を見いだすことができなくなったりしている。また、不登校やいじめの問題も増加傾向である。このような課題を克服するために、自治的諸活動と生活指導部会では、「たくましく生きる子どもを育てよう」をテーマに実践研究に取り組んできた。また、「協働を通じた人とかかわりや学びへの追求」についても検討を重ねてきた。その結果、以下のような重要性が明らかになった。

- 子どもの気持ちの背景にあるものや発達段階をふまえ、実態を正しく把握したうえで活動内容を考え、子どものやる気を引き出す支援を行っていくこと。
- 地域と学校間の連携をふまえて、集団の質を高めるための活動を行っていくこと。
- 集団生活の中で、子どもどうしのかかわりを大切にし、リーダーの育成や集団の質を高める支援を行っていくこと。
- 問題行動の解決や予防をはかるために、家庭や地域との連携を大切にしたり、子どものコミュニケーション能力を育成したりしていくこと。

以上のことから、教員は子どもたちが将来たくましく生きる姿を見据えて、子ども一人ひとりの気持ちを考え、一人ひとりの実態にあった働き掛けを行っていくことが重要であることを確認することができた。

#### 2 来年度への課題

「令和の日本型学校教育」という新時代の教育によるとりくみが始まった中での愛知県教育研究集会が行われた。本年度の自治的諸活動と生活指導部会では、たくましく生きる子どもを育てるために学習タブレットを活用したとりくみや、自己指導能力を高めるとりくみ、多様性を考えて、関係諸機関と連携したとりくみなど、多岐に渡るものであった。

今後も子どもたちが成長し続けることができるように、我々教員は、常に子どもたちの将来を見据えた研究と実践に向けて、日々研鑽に励んでいくことが必要だと考える。

そのため次年度のレポートについては、本年度のレポートで課題となった、「子どもの実態を正しく把握した活動内容のあり方」、「集団の質を高める支援のあり方」、「問題行動の解決や予防をするために家庭・地域との連携とその支援のあり方」などについて、子どもたちがたくましく、そして安心・安全に生きていくことができるよう、目の前にいる子どもたちのことを考えた粘り強いとりくみが期待される。

最後に、正会員の方々および、おとりくみいただいた各分会・各単組の方々に、紙面をお借りしてお礼を申し上げますとともに、ここに掲載した小中学校の実践研究例を「たくましく生きる子どもを育てる」ためのご参考にしていただければ幸いです。